

図書館だより

第6号
宇・海道小学校
R2. 9. 25



だんだんと秋の気配が訪れ、過ごしやすい季節になってきました。
1年生も一人で図書室を利用し始め、ルールを守って、たくさん借りることができています。

秋といえば、食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋などいろいろ言われますが、読書の秋もおススメです。集中してゆっくり本を読むことで、心と脳に栄養補給をしましょう。



チャレンジ読書 達成 おめでとう!

2年1組 栗田 夢叶 さん
佐藤 樹 さん

達成者が続いています。
みんなも30冊読破を
目指そう!

図書室では今、宇宙の日(9月12日)、空の日(9月20日)、動物愛護週間や十五夜をテーマにした本の紹介をしています。いつもはあまり読まない本にも手を伸ばしてみましょう。きっと新しい発見が待っています。

その中から、今回は動物愛護に関連した本を紹介します。ペットを飼っていない人も、いのちの大切さやこれからどうやって関わっていったらよいか、考えるヒントになるかもしれません。図書室で貸出しています。



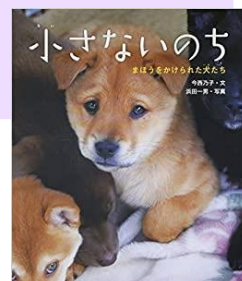
『かざんのしまからねこたちをすくえ』
木暮 正夫 文・篠崎 三朗 絵

2000年8月東京の南の海にある三宅島で火山の大噴火がおきました。もくもくと上がる煙、降り注ぐ火山灰。そんな中、島に残された動物たちを助けようと必死になった人たちの実際にあった心あたたまるお話。

『小さないのち』

今西 乃子 著・浜田 一男 写真

人間にすてられ、きずつけられ、いのちのきげんをきられたぼろきれのような犬たちを、まるでまほうをかけるように、だれからもあいされるかわいい犬に生まれかわらせる。安並さんは、そんないのちのまほうつかい。



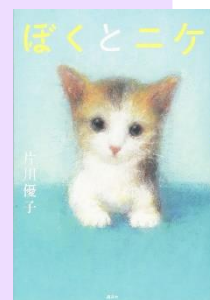


『生きるんだポンちゃん』
中村 ただし 文・写真

岐阜県の国道で車にはねられた野生の子だぬきと一人の動物医の、奇跡的なお話です。野生動物への惜しみない愛を、自身の文と写真でつづった感動の実話です。

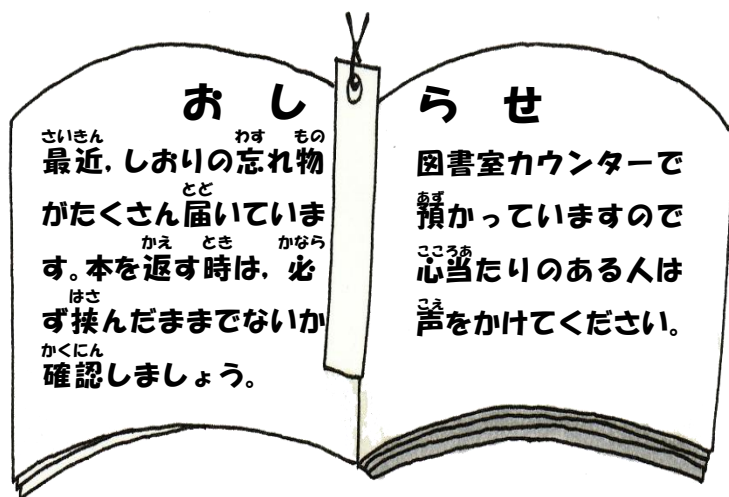
『ぼくとニケ』
片川 優子 著

ある日、子猫がやってきた。5年生で突然登校拒否になった幼なじみの仁菜が、薄汚れた子猫を拾い、ぼくの家へ連れてきた。自分の家で飼えない仁菜にかわって、ぼくと家族がお世話をすることになったのだけれど…。獣医師が描く感動の物語。

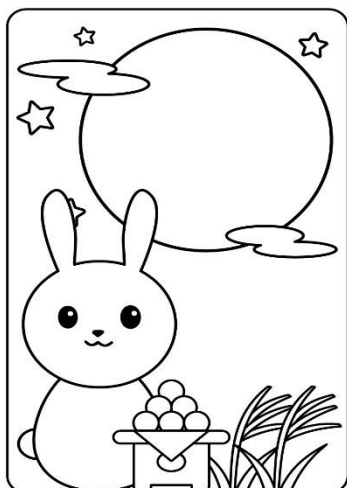


図書ボランティアさん 活躍中！

図書室で月に1回、みなさんがたくさん読んでいた傷んだり古くなったりしまった本の廃棄や学級文庫の準備を進めてくださっています。いつもありがとうございます！



季節のまちがいさがし



2枚のイラストには、まちがいが7こあります。
よ〜く見て、さがしてください。
答えは、図書室の「十五夜」のコーナーで！！

